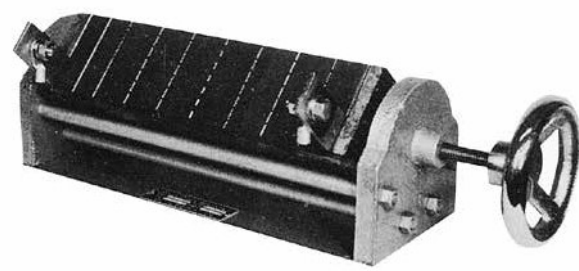


RC 型カーボン抵抗器（カーボン・パイル）

本器は大電流を微細に調整するのに最も適した可変抵抗器で構造は約 25 ～ 30 枚の炭素板を耐熱性絶縁板で支えて鋳鋼製の容器に納め、把手を回転して圧力を徐々に加減して炭素板相互間の接触抵抗を加減する方式で大きい過負荷にも耐えられることが特長であります。



使用について

- 可変範囲の変更。
抵抗の標準的な可変範囲は表のとおりですが、カーボン抵抗素子（極板）を少なくすることにより小さな抵抗値まで可変することができます。移動する極板はどちらの極板でも問題ありません。
- 使用中の抵抗変化（電流変化）について。
カーボン抵抗は、その抵抗値が、カーボンの固有抵抗と接触抵抗により構成されているために、温度と共に抵抗値が減少致します。
比較的大きな抵抗変化を示し、電流が増加致しますので、長時間無人で使用する用途には適さない負荷装置であります。
- ツマミの回転数に対する抵抗値の再現性が悪いために抵抗値の目盛りを切って合わせることはできませんから、銘板取付の場合は、増一電流一減というような銘板が好ましいと思います。右回して抵抗減となっています。
- 本装置は短時間の過負荷には非常に強く、バッテリーの放電テスト等の試験および溶接機の負荷試験等、比較的短時間の電流負荷として最も能力を発揮します。
- 本装置の抵抗の可変は完全無段階に行えます。RX 型、RZ 型負荷装置や摺動抵抗器の微細用として共用されますと大変便利な負荷装置になります。

仕様

仕様	型式	RC-1	RC-2	RC-3	RC-4	RC-5	RC-6	RC-7
定格電流 (A)		20	30	50	100	150	200	300
抵抗可変範囲 (Ω)		0.2 ～ 1	0.13 ～ 0.67	0.08 ～ 0.4	0.04 ～ 0.2	0.026 ～ 0.133	0.02 ～ 0.1	0.013 ～ 0.067
寸法 mm		420 × 118 × 115	460 × 146 × 150	500 × 181 × 180	560 × 241 × 250	610 × 295 × 310	600 × 335 × 350	690 × 381 × 425
質量 kg		12	15	23	40	50	60	85

界磁抵抗器

本器は、抵抗の高い時には電流が少なく抵抗の減少に従い電流が増大するような電流変化のある回路の試験用には最適であります。

結線図

右図のように摺動抵抗値が場所により変化していますので電流変化のある回路試験には最適です。



仕様

仕様	型式	NRF-3-200
定格電流		3A
抵抗		200 Ω
寸法	W	210mm
	D	210mm
	H	200mm

